

支えるチカラでつなぐ地域スポーツ
— 地域部活動とクラブチームを支える
医療人材育成プロジェクト —

国際医療福祉大学
理学療法学科



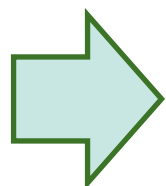
はじめに



文部科学省

令和5年～7年までを「改革推進期間」
休日の部活動について地域と連携したり
学校外の多様な地域団体が主体となる
地域クラブ活動への意向を推奨

地域移行により、生徒がより安全で安心して
活動できる環境が期待される



指導に関わる人材が
傷害予防やコンディショニングに関わる知識が必要

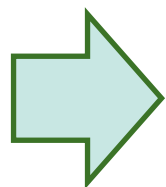


国際医療福祉大学

はじめに

公益財団法人 運動器の健康・日本協会

理学療法士が「学校保健活動」に関わり、
児童・生徒への運動器疾患・障害の予防教育や健康指導を
担うことを推進。



2024年より

認定スクールトレーナー制度（ScT制度）が開始

理学療法士が 学校や地域のスポーツ現場へ
参画する流れを制度的に後押し



はじめに



2021年よりサポートをスタート

- ・ 中高生へのコンディショニング指導
- ・ 社会人選手への競技サポート
- ・ 学生の早期からのトレーナー経験

地域と大学が互いに成長しあう関係



今後は医療系大学としての強みを活かし
地域全体を支える仕組みづくりへ



実施計画：3つのステップで地域へ展開

01

拠点で支える

医科学的サポートの実践

中高生へのフィジカルチェック
傷害予防・コンディショニング

02

拠点で育てる

未来の医療人材育成

学生の実践的スキル習得
外部講師による特別研修

03

拠点から広げる

地域全体への展開

他校・他競技（野球等）へ
地域住民への健康啓発



実施内容

STEP1: 拠点で支える



実施内容

STEP2: 拠点で育てる



テーピング
救急対応
エコーの使用法など
外部講師を招きながら勉強会を実施



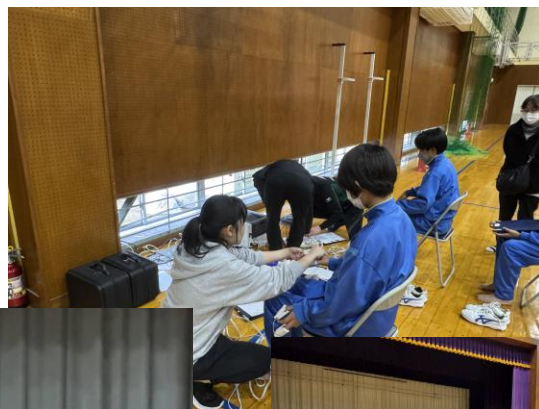
実施内容

STEP3: 拠点から広げる



拠点から広げる 私たちのリーチできる層を増やす

本学卒業生 湘南ベルマーレフィジオ
島田氏を招聘し講演・測定会を開催



宇都宮市内の高校にて
外部測定会を実施



栃木市エイジェックにて
高校野球部の測定を実施



参加者の声：現場からの評価



「初めて行う測定も多く、自分の身体を知る良いきっかけになった。怪我せずに結果が出せるようになりたい。」

高校野球選手



「思ったより跳べていなかった。数値で見ると課題が明確になる。もっと上手くなるためにトレーニングを頑張りたい。」

中学生サッカー選手



「専門的な支援のおかげで、選手が怪我なくプレーできている。お互いに高め合える関係でいられることに感謝。」

地域団体



まとめ

拠点で
育てる

拠点で
支える

拠点から
拡げる

大学を拠点として、学生人材の育成と選手支援を継続してきた。
その結果、現場で活動できる人材が育ち、中間報告以降は学校や競技現場、
他競技・他団体へと活動を拡大することができた。
現在は、地域全体のスポーツ実施者を支える取り組みへと発展している。
今後は、拠点機能と人材を基盤に、地域全域への展開を目指す。

